



全校田植えが終わりました。生徒の皆さん、大変お疲れ様でした。手植えた田んぼの収量は、機械植えた田んぼの収量よりも、若干多いと聞いたことがあります。生徒の皆さんの愛情が最高の肥料になっているからなのでしょう。秋に黄金色の絨毯が見られるよう、祈るばかりです。植物科学科の皆さん、この後の管理をよろしくお願いします。



温室内でトマトが採れ始めています。三農のトマトは市場での評価も高く、地元では常に高値で取引されているようです。何と、高い時だと1箱1万円弱。具体的に言うと、1個500円といふとんでもない値段に跳ね上がることもあるそうです。一体誰が買って、どんなシチュエーションで活用されているのか、一度追跡調査してみたいものです。



田んぼアートに活用する各品種です。短稈紫、黄稲、紫黒稲、白稲、べにあそびなど、時間が経過すると、もっと色が鮮やかになります。さて、今年の田んぼアートは、どんな作品になるのか・・・六月上旬までに御披露目できるようです。

# San Farm Gallery 2017 Vol.4

三農の農場に生息する様々な植物や動物は、季節の移り変わりとともに姿や景色を変え、私たちの目を楽しませてくれたり、心をときめかせてくれたりします。San Farm Galleryでは、そんな農場の1コマを紹介します。 三農農場部

ジャガイモが順調に育っています。播種後、約100日後となる7月下旬～8月上旬に収穫する予定です。

ところで、ジャガイモは地下茎が肥大したもので、サツマイモは根が肥大したものです。しかし、両方とも土の中に埋まっているので、違いが分かりにくいでしょう。では、その違いは？ジャガイモは茎なので表面がつるつるしてヒゲのような根は生えず。サツマイモは根（主根）なので細かいヒゲ（側根）が生えています。また、ジャガイモは茎なので日が当たると緑色になりますが、サツマイモは根なので緑色にはならない、という整理ができるようです。



高清水のオレンジハートから旧上北町に抜ける道路沿いで、動物科学科の刈り払い実習が行われています。刈り払い機は、日常生活の様々な場面で使用することが多いので、これを経験した生徒の皆さんは、卒業後もあちこちで重宝されることでしょう。